

2018年10月30日
日本船主協会 海務部

東京海洋大学 海洋工学部オープンキャンパスに協力

日本船主協会では2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2018年10月21日(日)に東京海洋大学海洋工学部(越中島キャンパス)において、高校生とその保護者を対象としたオープンキャンパスが開催され、当協会は活動の一環として協力しました。

東京海洋大学越中島キャンパスでは、10月21日(日)に、高校生とその保護者を主対象とした今年度2回目となるオープンキャンパスが実施されました。

当協会は同学部卒業生が多く進んでいる海事クラスターの業界団体として「キャリアコンパス～将来の仕事を見てみよう～」に協力し、講演と展示ブースでの対応を行いました。

講演会では、日本郵船株式会社より大塚一等機関士が、大学進学後の進路や海運産業、海技者の仕事について講演しました。

講演会終了後は、展示ブースにて来場者と面談コーナーを開設し、来場した高校生や保護者からの質問に答えました。「仕事の内容や船上の生活スタイル」、「船員へのキャリアパス」、「航海士・機関士として働く上での英語の必要性」、「海賊は本当に出没するのか」、などの様々な質問が寄せられました。参加した高校生にとって、海技者についての知見を広め、将来を真剣に考えるための有意義な情報交換となりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



講演会会場にて講演を行う大塚一等機関士



展示ブースで対応をする大塚一等機関士(右)と
田中常務理事(左)